

KOBELCO SK30SRST-5 油圧ショベル

(バックハウ CANOPY 鉄シュー+パッド仕様)

標準仕様書

(R0)

2009年 09月 18日

コベルコ建機 株式会社

1. 形式名称	KOBELCO SK30SRST-5		
2. 機械形式	クローラ式		
3. 作業装置	バックホウアタッチメント		
3.1 形式			
3.2 バケット容量	定格(山積)容量	0.09 m ³	(JIS A8403-4)
	平積容量	0.06 m ³	(JIS A8403-4)
3.3 標準積載質量	108 kg		
3.4 作業寸法			
	最大掘削半径	4,850 mm	
	最大掘削深さ	2,540 mm	
4. 完成機寸法 (図1 参照)			
4.1 全長	4,330 mm		
4.2 全幅	1,550 mm		
4.3 全高	2,600 mm		
5. 質量			
5.1 運転質量	2,950 kg		
5.2 接地圧	26.6 kPa (JIS A 8403-2)		
6. 性能			
6.1 旋回速度	8.4 min ⁻¹		
6.2 走行速度	2速	3.7km/h	1速 2.0 km/h
6.3 登坂能力	58 %		
7. 本体寸法 (図2 参照)			
7.1 本体全長	2,650 mm		
7.2 本体全幅	1,550 mm		
7.3 上部旋回体全幅	1,550 mm		
7.4 本体全高	2,600 mm		
7.5 後端旋回半径	775 mm		
7.6 旋回体後端距離	775 mm		
7.7 旋回体後部下端高さ※	615 mm		
7.8 タンブラ中心距離	1,700 mm		
7.9 クローラ全長	2,210 mm		
7.10 クローラ全幅	1,550 mm		

7.11 クローラ高さ	570 mm
7.12 クローラ中心距離	1,250 mm
7.13 クローラシュー幅	300 mm
7.14 最低地上高さ※	360 mm

8. エンジン

8.1 名称	ヤンマー 3-3TNV82A
8.2 形式	4サイクル水冷3シリンダ 直接噴射式ディーゼルエンジン
8.3 シリンダー数-内径×行程	3 - 82 mm × 84 mm
8.4 総工程容積	1,330 ml
8.5 定格出力	Net 17.1 kW/2,400 min ⁻¹ (JIS D 0006-1 FAN付) Net 18.1 kW/2,400 min ⁻¹ (ISO 14396 FAN無)
8.6 最大トルク	Net 83.0 N·m/1,440 min ⁻¹ (JIS D 0006-1 FAN付) Net 84.3 N·m/1,440 min ⁻¹ (ISO 14396 FAN無)
8.7 始動電動機	12 V、1.7 kW
8.9 充電電動機	ACオルタネータ 12 V 55 A
8.9 蓄電池	電圧 12 V 容量 64 A·h × 1 個
8.10 空気清浄器	乾式
8.11 無負荷最低回転速度	1,450 min ⁻¹
8.12 無負荷最高回転速度	2,570 min ⁻¹

9. 油圧装置

9.1 油圧ポンプ	可変容量形アキシャルピストン式 + ギヤ式
9.1.1 形式	全馬力制御
9.1.2 制御方式	
9.1.3 吐出し量	アキシャル 2×28.8 l/min ギヤ 1×15.6 l/min ギヤ 1×12.2 l/min
9.2 制御弁	
9.2.1 形式	スプールタイプ×10連×1個
9.2.2 操作方法	油圧パイロット式 + 直動式
9.3 メインリリーフ弁セット圧力	
9.3.1 掘削回路	23.0 Mpa
9.3.2 走行回路	23.0 Mpa
9.3.3 旋回回路	19.6 Mpa
9.3.4 油圧パイロット回路	3.5 Mpa
9.3.5 ブレード回路	20.6 Mpa

- 9.4 作動油フィルタ
- 9.4.1 リターンフィルタ ろ過精度 $\beta_{10} \geq 8$
- 9.4.2 サクシヨンストレーナ ろ過精度 1-105 μm
10. 操縦装置
- 10.1 キャノピ 構造：鋼製3本支柱
樹脂製ルーフ
- 10.2 運転席 位置：上部本体左前方
前後調整式
- 10.3 操作レバー類
- 10.3.1 エンジンコントロール レバーを前後して回転数制御
- 10.3.2 走行操作 2本のレバーを前後して、各々のトラックを独立に前後進させる
- 10.3.3 作業用
- 旋回操作 左手側のレバーを左右して、左及び右方向に旋回
- ブーム操作 右手のレバーを前後して、ブーム下げ及び上げ
- アーム操作 左手のレバーを前後して、アーム押し及び引き
- バケット操作 右手側のレバーを左右して、掘削及び放出
- スイング操作 運転席の右足元のペダルを左右に踏んでアタッチを左及び右
- ブレード操作 運転席の右側のレバーを前後してブレードを下げ及び上げ
- 10.4 標準装置
- インストルメントパネル チェック&セーフティモニター
- その他 作業灯（ブーム、キャノピ）
11. 旋回装置
- 11.1 旋回サークル 形式 単列玉軸受内歯付
- 11.2 旋回油圧モータ 形式 定容量形アキシャルピストン式 1個
- 11.3 減速機 形式 遊星2段
- 11.4 旋回ブレーキ 形式 油圧式ブレーキ
- 11.5 旋回駐車ブレーキ 形式 多板、湿式ブレーキ
12. 下部走行体
- 12.1 動力伝達装置
- 12.1.1 走行油圧モータ 形式 可変容量形 アキシャルピストン式 2個
- 12.1.2 減速機 形式 シュー幅内収納式遊星
スプロケット直結

12.2 制動装置

12.2.1 走行ブレーキ

形式 油圧式ブレーキ

12.2.2 駐車ブレーキ

形式 多板、湿式ブレーキ

12.3 足廻り装置

12.3.1 クローラシュー

形 式

鉄クローラ, 溶接式ダブルグローサシュー
(ボルトオン式パッド付)

シュー枚数

片側 45 枚

グローサ高さ

17 mm

12.3.2 アップローラ

片側 1 個

12.3.3 ロワローラ

片側 4 個、内つば、フローティングシール

12.3.4 フロントアイドラ

片側 1 個、内つば、固定軸シール

12.3.5 クローラベルト張り調整装置

グリースシリンダ式クッションスプリング付

13. バックハウアタッチメント (標準1.16mアーム)

13.1 容量、寸法及び作業範囲図 (図3参照)

13.1.1 バケット容量

定格(山積)容量 0.09 m³ (JIS A8403-4)平積容量 0.06 m³ (JIS A8403-4)

13.1.2 バケット幅

サイドカッタ付バケット幅

500 mm

13.1.3 バケット質量

73 kg

13.1.4 スイング角度

右 55 度 左 60 度

13.1.5 スイングピボット偏心量

50 mm

13.1.6 作業寸法

A	: 最大掘削半径	4,850 mm
A'	: 床面最大掘削半径	4,700 mm
B	: 最大掘削深さ	2,540 mm
C	: 最大掘削高さ	4,720 mm
D	: 最大ダンプ高さ	3,320 mm
E	: 最小ダンプ高さ	1,270 mm
F	: 最大垂直掘り深さ	2,220 mm
G	: フロント最小旋回半径	1,970 mm
H	: フロント最小旋回半径時全高	3,380 mm
K	: 水平掘削距離 (ストローク)	2,000 mm
L	: 床面仕上最小半径	1,630 mm

13.2 油圧シリンダ

13.2.1 ブーム	本数 1本	内径 75mm	行程 471mm
13.2.2 アーム	本数 1本	内径 70mm	行程 502mm
13.2.3 バケット	本数 1本	内径 60mm	行程 417mm
13.2.4 スイング	本数 1本	内径 75mm	行程 385mm

13.3 掘削力

13.3.1 バケットシリンダによる最大掘削力	21.9 kN (JIS A8403-5)
13.3.2 アームシリンダによる最大掘削力	14.0 kN (JIS A8403-5)

14. ブレード

14.1 構造

14.1.1 形式	ストレート式
14.1.2 操作方式	油圧昇降式
14.1.3 油圧シリンダー	本数 1本 内径 100mm 行程 160mm

14.2 作業寸法

14.2.1 ブレード寸法	最大幅 1,550 mm
	最大高さ 345 mm
14.2.2 最大上昇量	590 mm
14.2.3 最大下降量	380 mm
14.2.4 アプローチ角	38 度

15. 水・油脂の容量

15.1 油圧作動油	全量 47 l
	タンク内油量 38 l
15.2 冷却水	4.4 l
15.3 エンジン潤滑油	6.1 l
15.4 燃料	38 l

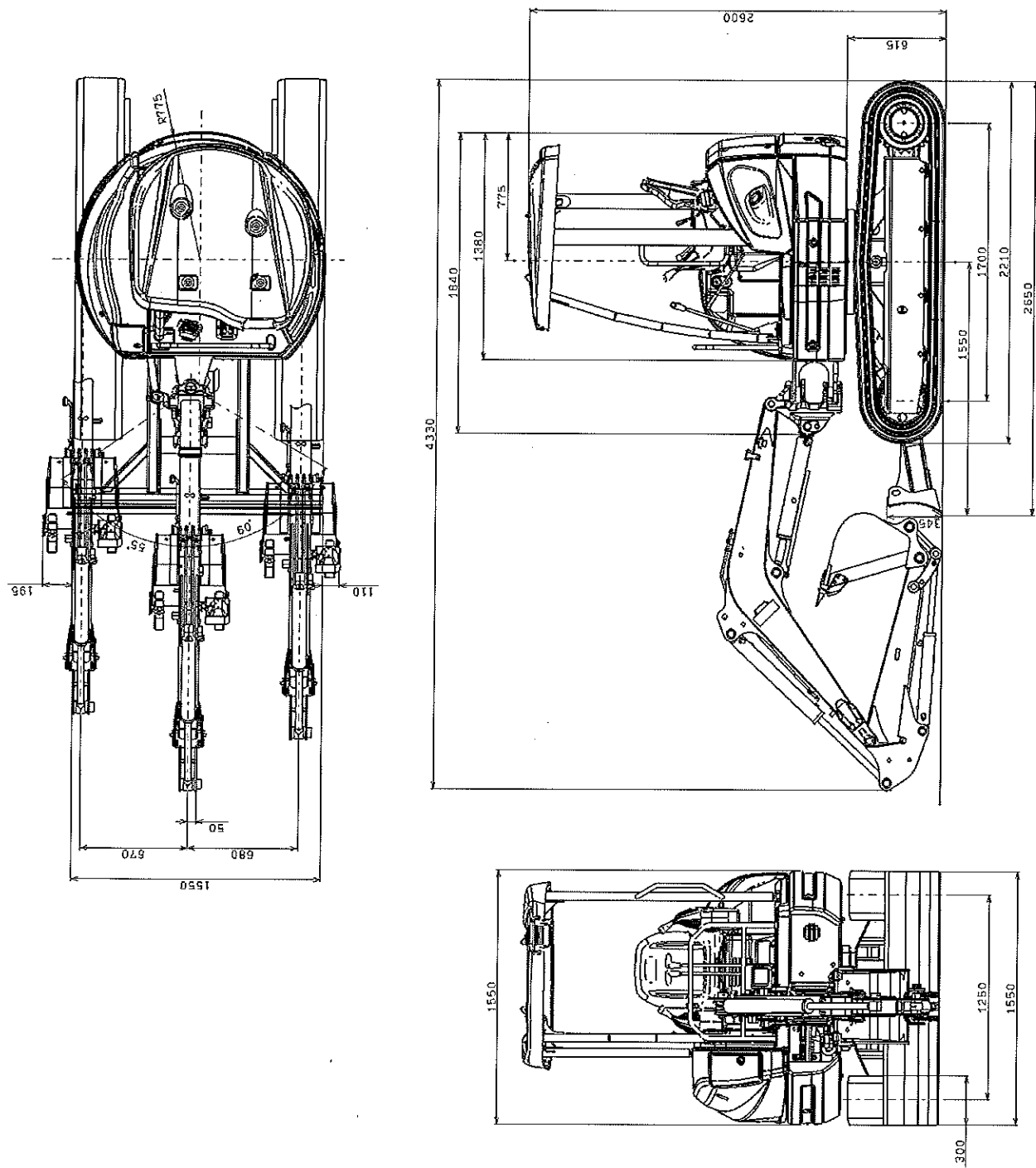


図 1 完成機寸法 (mm)

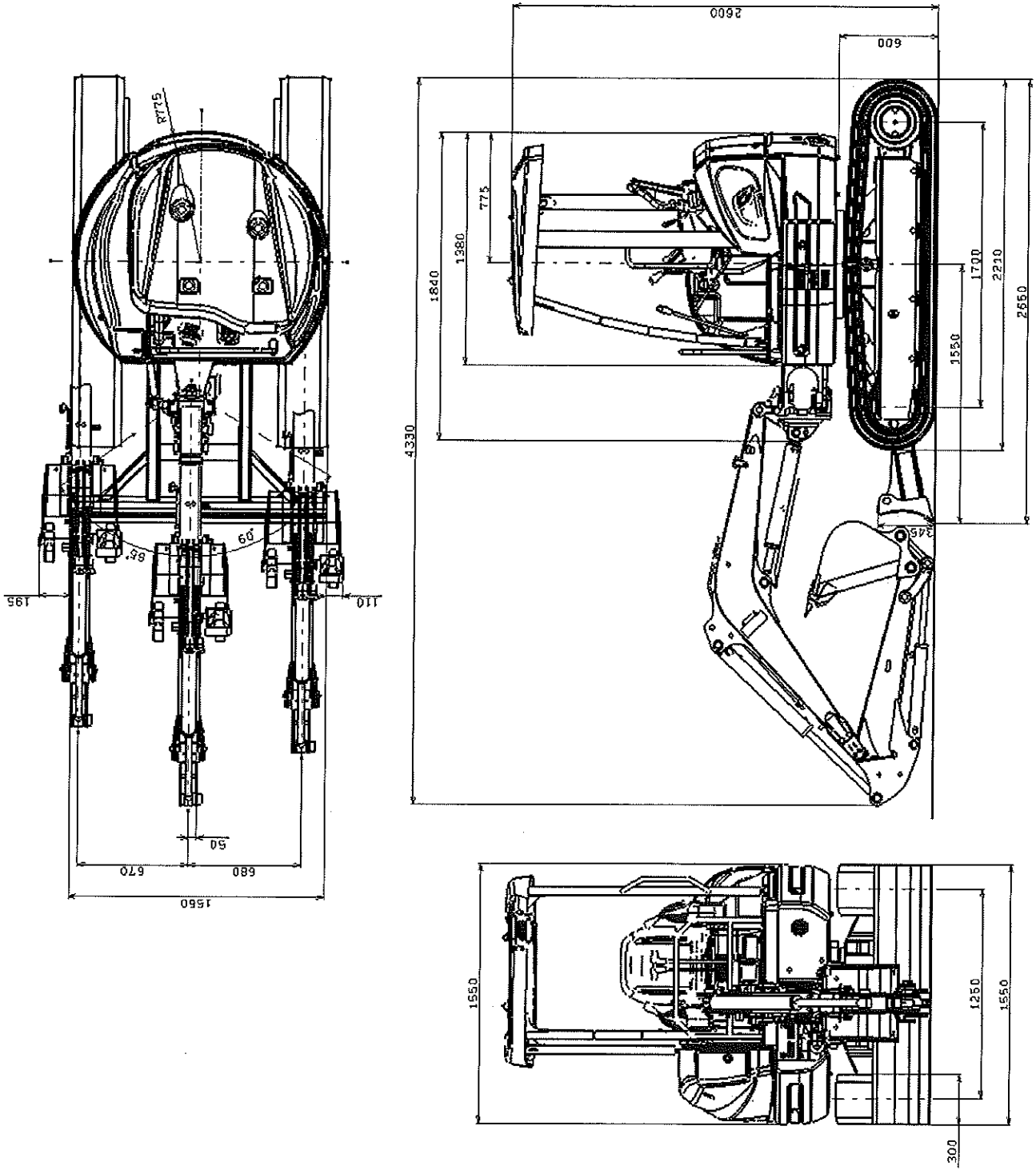


図1 完成機寸法 (mm)

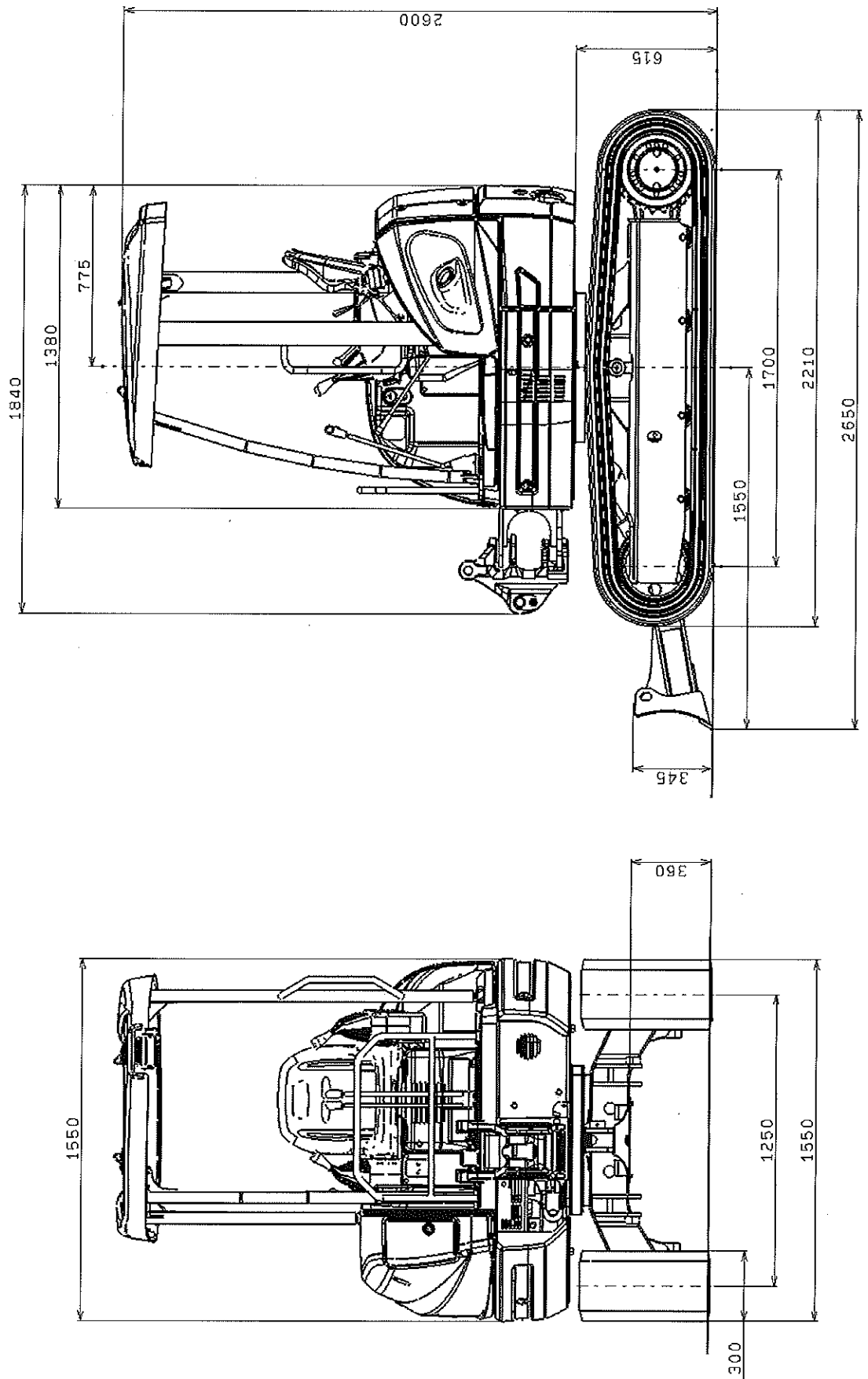


图2 本体寸法 (mm)

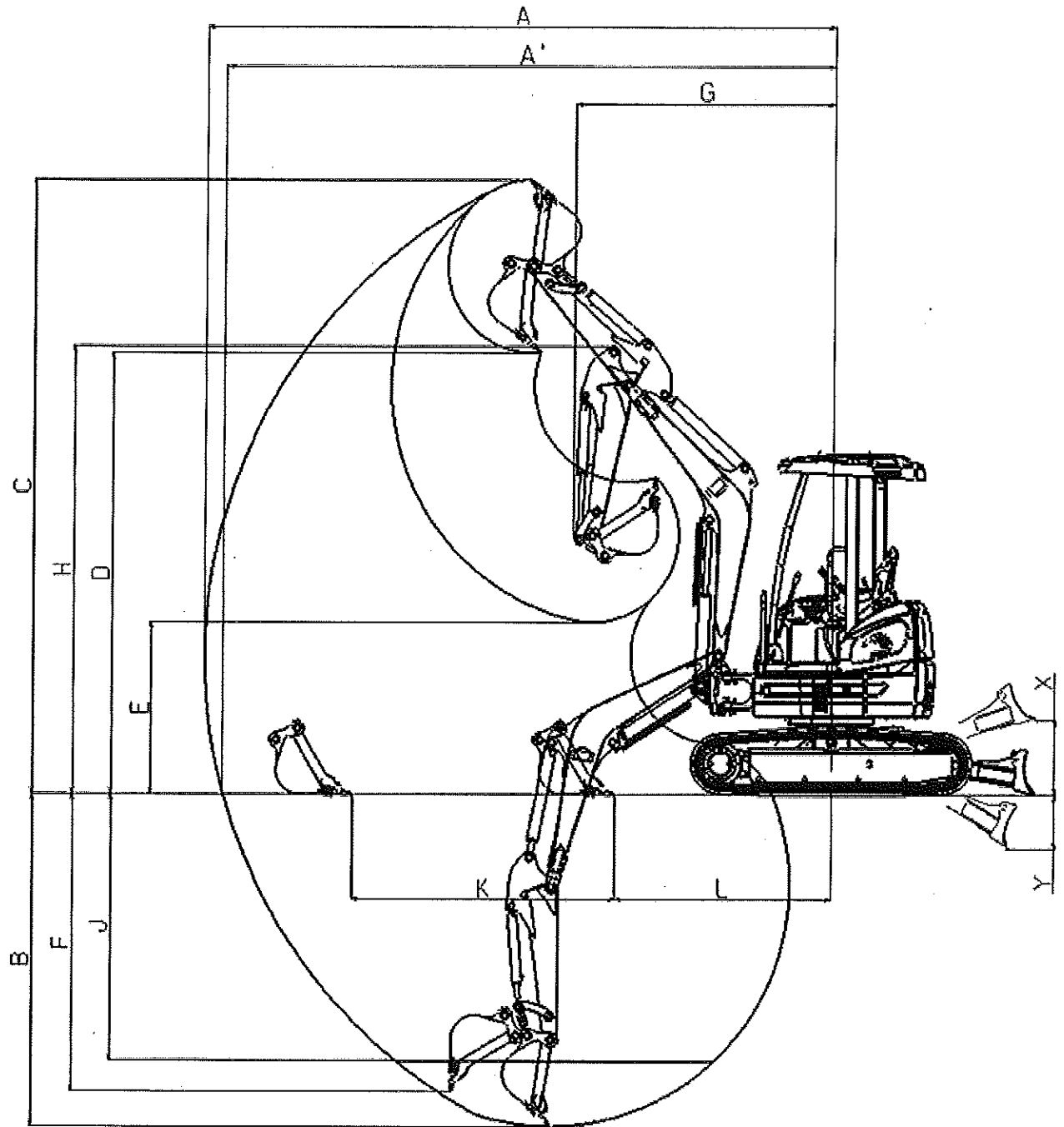


図3 作動範囲図